

短期シラバス（第2回考査分）

教科・科目名	国語科・現代の国語	学年・コース	第1学年（普通・夢トライコース）	予定時数	14 時間
--------	-----------	--------	------------------	------	-------

単元・題材	単元の目標	評価観点	評価規準	評価方法
・『『大人になる』ための条件』 （石井洋二郎）	・筆者が考える「大人」の定義について読み取り、評論文に多用される一般的に正しいと考えられている事柄に対する問題提起について考えを深めることができる。	知・技	・語句の量を増やし、語彙を豊かにしている。 ・文章構成について理解している。	・定期考査 ・授業プリント等 ・行動観察
		思・判・表	・文章構成や論の展開を踏まえて、一般的に正しいと思われる「大人」の定義に対して、筆者が考える「大人」の定義を的確に捉えている。	・定期考査 ・授業プリント等 ・行動観察
		主体的学習	・定義を疑うことや、問題提起することについて考えを深め、自身の言動に活かそうとしている。	・授業プリント等 ・行動観察
・「いま平和とは」 （最上敏樹）	・本文中の接続語や指示語を確認しながら、抽象的な表現を用いて示された筆者の「平和観」について考えを深めることができる。	知・技	・語句の量を増やし、語彙を豊かにしている。 ・文章構成について理解している。	・定期考査 ・授業プリント等 ・行動観察
		思・判・表	・具体と抽象の関係を理解し、筆者の指摘する「構造的暴力」の内容を的確に捉えている。	・定期考査 ・授業プリント等 ・行動観察
		主体的学習	・社会構造という観点から、平和の意味について考えを深めようとしている。	・授業プリント等 ・行動観察
・「コインは円形か」 （佐藤信夫）	・筆者の考える「レトリック」を読み取り、人間の認識の一面性を打開する方法や必要性について考えを深めることができる。	知・技	・語句の量を増やし、語彙を豊かにしている。 ・文章構成について理解している。	・定期考査 ・授業プリント等 ・行動観察
		思・判・表	・具体例を読み解くことで、筆者の考える「レトリック」の意義とその必要性についての的確に捉えている。	・定期考査 ・授業プリント等 ・行動観察
		主体的学習	・筆者の考えや例を参考に自分の考えを深め、多角的に物事を見る力を養おうとしている。	・授業プリント等 ・行動観察

短期シラバス（第2回考査分）

教科・科目名	国語科・言語文化	学年・コース	第1学年（普通・夢トライコース）	予定時数	12時間
--------	----------	--------	------------------	------	------

単元・題材	単元の目標	評価観点	評価規準	評価方法
・「羅生門」 （芥川龍之介）	・内容や構成、場面の展開、心情や情景の描写、比喩表現、語り手の役割などに注意しながら、登場人物の心情の変化を読み取り、自分の考えを深めることができる。	知・技	・小説における心情や情景の描写、比喩表現、色彩表現、語り手の役割を理解している。	・定期考査 ・プリント／行動観察
		思・判・表	・内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉え、「下人」の心情の変化を読み取り、自分の考えを深めている。	・定期考査 ・プリント／行動観察
		主体的学習	・進んで本文の構成や場面の展開、表現の特色を捉え、「下人」の心情の変化を読み取り、主題について考えようとしている。	・プリント／行動観察
・「絵仏師良秀」 （『宇治拾遺物語』）	・文語のきまりや古典特有の表現に注意しながら、叙述を基に人物像を読み取り、芸術と人間性の関係について自分の考えを深めることができる。	知・技	・文語のきまりや古典特有の表現について理解している。 ・歴史的仮名遣いに注意して本文を音読している。	・定期考査 ・プリント／行動観察
		思・判・表	・文章の種類を踏まえて、叙述を基に内容を読み取り、芸術と人間性の関係について自分の考えを深めている。	・定期考査 ・プリント／行動観察
		主体的学習	・進んで文語のきまりを理解し、叙述を基に人物像を読み取り、芸術と人間性の関係について考えようとしている。	・プリント／行動観察

短期シラバス（第2回考査分）

教科・科目名	地理歴史・歴史総合	学年・コース	第1学年（普通・夢トライコース）	予定時数	10 時間
--------	-----------	--------	------------------	------	-------

単元・題材	単元の目標	評価観点	評価規準	評価方法
第1編 近代化と私たち 第2章 欧米の市民革命と「西洋の衝撃」 ⑧アヘン戦争の衝撃と日本の開国 ⑨江戸幕府の滅亡	<ul style="list-style-type: none"> ・アヘン戦争やペリー来航をはじめアジアと欧米諸国の関係などを基に、18世紀とその前後の世界の政治と社会を理解する。 ・18世紀とその前後の世界全体の経済活動の特徴、アジア諸国と欧米諸国との関係、江戸幕府が崩壊していく関係などを多面的・多角的に考察し、表現する力を養う。 	知・技	資料から情報を読み取り、まとめる技能を身に付ける。 産業革命と交通・通信手段の革新、中国の開港と日本の開港などを基に、工業化と世界市場の形成を理解している。	行動観察 学習プリント 定期考査
		思・判・表	産業革命の影響、中国の開港と日本の開国の背景とその影響から、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較し、相互に関連付けて、アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察、表現している。	行動観察 学習プリント 定期考査
		主体的学習	よりよい社会の実現を視野に入れ、近代化の課題について主体的に追究しようとしている。	行動観察 学習プリント
第1編 近代化と私たち 第3章 欧米諸国と日本の国民国家形成 ⑩イギリス・フランスの繁栄とイタリア・ドイツの統一 ⑪明治政府の諸改革	<ul style="list-style-type: none"> ・19世紀後半のヨーロッパの動きと日本の明治政府の政策などを基に、当時の日本との政治と社会を理解する。 ・19世紀後半の欧米諸国の動向が日本に与えた影響などに着目して、当時の日本における経済活動の特徴、日本と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する力を養う。 	知・技	19世紀後半のヨーロッパや日本における政治、ヨーロッパ各地域間や日本と欧米諸国の関係などを基に、19世紀後半のヨーロッパと日本の政治と社会を理解している。	行動観察 学習プリント 定期考査
		思・判・表	19世紀後半のヨーロッパにおける政治活動の特徴、ヨーロッパ各地域間の関係、日本と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している	行動観察 学習プリント 定期考査
		主体的学習	19世紀後半のヨーロッパの動きと日本との関連に関わる諸事象に関する学習を通して、近代化の課題について主体的に追究しようとしている。	行動観察 学習プリント

短期シラバス（第2回考査分）

教科・科目名	公民・公共	学年・コース	第1～3学年(普通・夢トライコース)	予定時数	15時間
--------	-------	--------	--------------------	------	------

単元・題材	単元の目標	評価観点	評価規準	評価方法
第5章 経済活動を行う私たち 第1節 経済のしくみと産業の変化 5 労働者の権利 6 現代の労働問題	・「日本型経営」の内容が企業別労働組合、終身雇用制、年功序列型賃金であることを理解する。	知・技	・バブル崩壊による深刻な不況・デフレや国際的な企業間競争の激化により日本の雇用構造が大きく変化した経緯を理解している。	・行動観察 ・課題 ・小テスト ・定期考査
		思・判・表	・労働組合の組織率の推移や正規雇用・非正規雇用の労働者数の推移・各国の失業率の推移等を考察し、それに伴う法整備等の見直しの必要性を適切に表現している。	・行動観察 ・小テスト (資料読み取り) ・定期考査
		主体的学習	・雇用と格差の問題が深刻化するなか、福祉のあり方を踏まえ、社会全体の抜本的な課題解決の方法を主体的に追究しようとしている。	・課題 ・授業プリント ・発問への回答状況
第2節 市場経済のしくみと金融	・市場経済を原則とする資本主義経済体制下では、価格の児童調節機能により需要量と供給量が調整されることを理解する。 ・国内総生産や国民総所得、国民所得などの経済指標を踏まえるとともに、景気変動や経済成長について理解する。 ・日本銀行の役割を理解するとともに、経済や物価安定を目的とした金融政策の方法を理解する。	知・技	・市場経済のメカニズムや各種経済指標を理解している。また金融のしくみを理解し、経済状況に応じて適切な手段の提示方法を理解している。	・行動観察 ・課題 ・小テスト ・定期考査
		思・判・表	・需給曲線を使って、どのような場合に価格が変動するのかを考察し、適切に表現している。またGDPが大きくなるにつながるのかを考察し、適切に表現している。	・行動観察 ・小テスト (資料読み取り) ・定期考査
		主体的学習	・需給関係によって変動する商品価格を踏まえた合理的な消費行動や、超低金利時代に生きる一員として今後の経済設計を主体的に追究しようとしている。	・課題 ・授業プリント ・発問への回答状況

短期シラバス（第2回考査分）

教科・科目名	数学・数学Ⅰ	学年・コース	第1学年（普通・夢トライコース）	予定時数	21時間
--------	--------	--------	------------------	------	------

単元・題材	単元の目標	評価観点	評価規準	評価方法
第1章 数と式 第2節 1次不等式	<ul style="list-style-type: none"> 数と式について、数学的活動を通して、式を多面的に捉え適切に変形する力を身につける。 具体的な事象について1次不等式を活用し課題を解決できるようになる。 	知・技	<ul style="list-style-type: none"> 数の計算、文字式、方程式を解く中で計算の法則を身につけている。 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 小テスト 課題の取組状況 定期考査の成績
		思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> 既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすることができる。 不等式の性質を基に一次不等式を解く方法を考察できる。 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、一次不等式を問題解決に活用できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題の取組状況 定期考査の成績
		主体的学習	<ul style="list-style-type: none"> 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深め、評価・改善しようとする態度を養っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 行動観察 課題の取組状況
第2章 2次関数 第1節 2次関数のグラフ	2次関数とそのグラフについて理解し、2次関数を用いて数量の関係や変化を表現することの有用性を認識するとともに、それらを事象の考察に活用できるようになる。	知・技	<ul style="list-style-type: none"> 関数の意味について理解し、その値を求めることができる。 2次関数の定義を理解している。 2次関数のグラフについて理解し、軸と頂点を求め、グラフをかくことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 行動観察 課題の取組状況 定期考査の成績
		思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> 身近な問題を関数で表すことができる。 2次関数のグラフの特徴や平行移動について考察できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 行動観察 課題の取組状況 定期考査の成績

		主体的学習	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活に見られる具体例から関数を見つけようとする。 ・関数が与えられたとき、そのグラフをかこうとする。 ・放物線のもつ性質に興味・関心を示し、自ら調べようとする。 ・自らの学習について振り返り、改善を重ねながら、粘り強く学習に取り組もうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・課題の提出状況
--	--	-------	---	---

短期シラバス（第2回考査分）

教科・科目名	数学・数学A	学年・コース	第1学年（普通コース・夢トライコース）	予定時数	16 時間
--------	--------	--------	---------------------	------	-------

単元・題材	単元の目標	評価観点	評価規準	評価方法
第1章 場合の数と確率 第2節 確率	確率について、数学的活動を通して、確率の意味や有用性を認識するとともに、確率を求めるときの基本的な考え方についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。	知・技	<ul style="list-style-type: none"> ・確率の意味を理解し、具体的な事象について確率を求めることができる。 ・事象の排反や独立な試行、条件付き確率、期待値などの基本的な考え方を理解し、問題の解決に活用することができる。 	小テスト 課題の取組状況 定期考査の成績
		思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> ・不確定な事象を、同様に確からしいという概念をもとに数量的にとらえることができる。 ・2つの独立な試行を行うとき、その結果として起こる事象の確率について考察することができる。 ・反復試行の確率を、具体的な例から直観的に考えることができる。 	課題の取組状況 定期考査の成績
		主体的学習	<ul style="list-style-type: none"> ・数え上げ以外の方法で場合の数が求められることに興味を持ち、考察しようとする。 ・具体的な事象について、確率を、興味をもって調べようとする。 ・自らの学習について振り返り、改善を重ねながら、粘り強く学習に取り組もうとする。 	行動観察 課題の取組状況 振り返りシート

短期シラバス (第2回考査分)

教科・科目名	数学・ベーシック数学	学年・コース	第1学年 (普通・夢トライコース)	予定時数	14 時間
単元・題材	単元の目標	評価観点	評価規準	評価方法	
<ul style="list-style-type: none"> ・正負の数の四則演算 ・累乗の計算 ・文字式の計算 ・式の展開 ・乗法公式 ・マナトレの復習 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な数の計算、文字式の計算の規則、展開の方法を身につけ、高校数学への興味関心を高め、理解を深める。 	知・技	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な数や文字式等を計算する知識・技能を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動状況 ・小テスト ・課題の取組状況 ・定期考査の成績 	
		思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> ・数学を活用して事象を簡潔・明瞭・適切に表現する力を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動状況 ・課題の取組状況 ・定期考査の成績 	
		主体的学習	<ul style="list-style-type: none"> ・数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり、興味関心を持って問題解決の過程を振り返り、考察を深めて改善したりしようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動状況 ・課題の取組状況 	

短期シラバス（第2回考査分）

教科・科目名	理科・科学と人間生活	学年・コース	第1学年（普通・夢トライコース）	予定時数	14 時間
--------	------------	--------	------------------	------	-------

単元・題材	単元の目標	評価観点	評価規準	評価方法
第III章 熱や光の科学 第1節 熱の性質とその利用	観察、実験などを行い、熱の性質、エネルギーの変換と保存および有効利用について、日常生活と関連付けて理解する。	知・技	<ul style="list-style-type: none"> 熱、仕事と熱、電流と熱の関係および状態変化と熱について理解している。 エネルギーに関する現状について理解している。 	小テスト 単元テスト 定期考査 課題
		思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> 熱と熱運動について考察できる。 セルシウス温度と絶対温度の違いについて説明できる。 熱に関する学びから地球環境問題を考察できる。 	
		主体的学習	<ul style="list-style-type: none"> 身近で体感する温度に興味をもち、熱の性質や日常生活との関連について理解しようとする。 エネルギー資源に関心を抱き、省エネルギーの試みや、代替エネルギーの開発に関する知識を習得しようとする。 	課題の提出状況 授業中の態度
第III章 熱や光の科学 第2節 光の性質とその利用	観察、実験などを行い、光を中心とした電磁波の性質とその利用について、日常生活と関連付けて理解する。	知・技	<ul style="list-style-type: none"> 光の速さ・反射・屈折・分散・散乱・回折・干渉・偏光について理解している。 情報通信や医療などへの電磁波の利用に関する知識をもっている。 	小テスト 単元テスト 定期考査 課題
		思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> 光の反射・屈折・分散・散乱の現象について、科学的に考察できる。 赤外線と紫外線の違いについて説明でき、電磁波の有効性と危険性について考察できる。 	
		主体的学習	<ul style="list-style-type: none"> 身のまわりの光に興味をもち、赤外線や紫外線に関心を抱き、人間生活に利用されている電磁波の知識を習得しようとする。 日常生活に利用される電磁波について意欲的に学習し、電磁波の利用について理解しようとする。 	課題の提出状況 授業中の態度

短期シラバス（第2回考査分）

教科・科目名	保健体育・体育	学年・コース	第1学年（普通・夢トライコース）	予定時数	2時間
--------	---------	--------	------------------	------	-----

単元・題材	単元の目標	評価観点	評価規準	評価方法
体育理論	スポーツから得られる「恩恵」とスポーツについての「課題」から、さまざまに思考し判断し表現する学習を通して、個人がスポーツ文化を創造していく主体となっていることに気づくようにする。	知・技	（知識）スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解している。 （技能）体育理論については「技能」に係る評価の対象がないことから、「技能」の評価基準は設定していない。	小テスト、保体ノート、訂正ノート、活動の観察（取組）
		思・判・表	スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、より良い解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。	小テスト、保体ノート、訂正ノート、活動の観察（取組）
		主体的学習	スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組もうとしている。	出席状況、忘れ物など、保体ノート、訂正ノート、活動の観察（取組）

短期シラバス（第2回考査分）

教科・科目名	保健体育・体育	学年・コース	第1学年（普通・夢トライコース）	予定時数	10時間
--------	---------	--------	------------------	------	------

単元・題材	単元の目標	評価観点	評価規準	評価方法
(選択種目) 球技	競技の勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、体力の高め方や運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。	知・技	<p>（知識）技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。</p> <p>（技能）ゴール型では、安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。ネット型では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。ベースボール型では、安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防をすることができる。</p>	<p>競技の記録表</p> <p>ルールテスト</p> <p>実技テスト</p> <p>活動の観察</p>
		思・判・表	<p>攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p>	<p>個人ノート、班ノート、競技の記録表</p> <p>自己評価表</p>
		主体的学習	<p>球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする事、作戦などについての話し合いに貢献しようとする事、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする事、互いに助け合い教え合おうとする事などをしたり、健康・安全を確保したりしている。</p>	<p>授業への取り組み、出席状況、忘れ物など、個人ノート、自己評価表、活動の観察</p>

短期シラバス（第2回考査分）

教科・科目名	保健体育・体育	学年・コース	第1学年（普通・夢トライコース）	予定時数	8時間
--------	---------	--------	------------------	------	-----

単元・題材	単元の目標	評価観点	評価規準	評価方法
陸上	記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、体力の高め方や運動観察の方法を理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けることができるようにする。その際、動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。また、陸上競技の学習に自主的に取り組み、ルールやマナーを大切にすることや一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にすることなどに意欲をもち、健康や安全を確保することができるようにする。	知・技	（知識）技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 （技能）短距離・リレーでは、中間走へのつなぎを滑らかにして速く走ることやバトンの受渡しで次走者のスピードを十分に高めることができる。長距離走では、自己に適したペースを維持して走ることができる。ハードル走では、スピードを維持した走りからハードルを低く越すことができる。走り幅跳びでは、スピードに乗った助走から力強く踏み切って跳ぶことができる。走高跳びでは、リズムカルな助走から力強く踏み切り滑らかな空間動作で跳ぶことができる。三段跳びでは、短い助走からリズムカルに連続して跳ぶことができる。砲丸投げでは、立ち投げなどから砲丸を突き出して投げることができる。やり投げでは、短い助走からやりを前方にまっすぐ投げることができる。	競技の記録表 ルールテスト 実技テスト 活動の観察
		思・判・表	動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。	個人ノート、班ノート、競技の記録表 自己評価表
		主体的学習	陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする事、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする事などをしたり、健康・安全を確保したりしている。	授業への取り組み、出席状況、忘れ物など、個人ノート、自己評価表、活動の観察

短期シラバス（第2回考査分）

教科・科目名	保健体育・保健	学年・コース	第1学年（普通・夢トライコース）	予定時数	11時間
--------	---------	--------	------------------	------	------

単元・題材	単元の目標	評価観点	評価規準	評価方法
1 単元 現代社会と健康 6 運動と健康 7 食事と健康 8 休養・睡眠と健康 9 喫煙と健康 10 飲酒と健康 11 薬物乱用と健康 12 精神疾患の特徴 13 精神疾患の予防	現代社会と健康について、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、現代社会と健康についての理解を深め、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現できるようにする。	知・技	<p>国民の健康課題や健康の考え方は、国民の健康水準の向上や疾病構造の変化に伴って変わってきていること。また、健康は様々な要因の影響を受けながら、主体と環境の相作用の下に成り立っていること。健康の保持増進には、ヘルスプロモーションの考え方を踏まえた個人の適切な意思決定や行動選択及び環境づくりに関わることを理解している。</p> <p>感染症の発生や流行には、時代や地域によって違いがみられること。その予防には、個人の取組及び社会的な対策を行う必要があることを理解している。</p> <p>健康の保持増進と生活習慣病などの予防と回復には運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活の実践や疾病の早期発見、及び社会的な対策が必要であることを理解している。</p> <p>喫煙と飲酒は、生活習慣病などの要因になること。また、薬物乱用は、心身の健康や社会に深刻な影響を与えることから行ってはならないこと。それらの対策には、個人や社会環境への対策が必要であることを理解している。</p> <p>精神疾患の予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践するとともに、心身の不調に気付くことが重要であること。また、疾病の早期発見及び社会的な対策が必要であることを理解している。</p>	定期考査の成績 小テスト 授業への取り組み 保体ノート 訂正ノート
		思・判・表	<p>現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現している。</p>	定期考査の成績 授業への取り組み 保体ノート

				訂正ノート
		主体的学習	現代社会と健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。	授業への取り組み 保体ノート 訂正ノート

短期シラバス（第2回考査分）

教科・科目名	芸術・音楽Ⅰ	学年・コース	第1学年（選択）	予定時数	14時間
--------	--------	--------	----------	------	------

単元・題材	単元の目標	評価観点	評価規準	評価方法
ギターアンサンブル ～ギター演奏に挑戦し、共に音楽を楽しもう～	<ul style="list-style-type: none"> ギター演奏の活動を通して、楽曲全体やそれぞれのパートがもつ雰囲気味わいながら表現する。 音や音楽が醸し出すよさや美しさなどを感じ取り、そこに価値を見いだせる感性を養う。 音や音楽を知覚・感受して、思考・判断し表現する音楽活動の過程を通して、創造的な表現の能力を伸ばす。 	知・技	<ul style="list-style-type: none"> ギターの文化的・歴史的背景を理解している。 曲想や音楽の構造、文化的・歴史的背景との関わりを理解している。 曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 実技評価 小テスト等
		思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> 器楽表現に関する知識や技能を得たり生かしたりしながら、イメージをもって表現を創意工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート等
		主体的学習	<ul style="list-style-type: none"> 器楽演奏に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価 授業態度等
音楽史① ～ルネサンスからバロック期の音楽の楽しみ～	<ul style="list-style-type: none"> 近代音楽の礎であるルネサンス～バロック期の音楽について知見を深める。 音楽を形づくる要素について理解し、それぞれの観点から楽曲を分析し、味わいながら鑑賞する。 	知・技	<ul style="list-style-type: none"> ルネサンス～バロック期の音楽の特徴や、活躍した音楽家およびその作品について理解している。 音楽を形づくる要素を理解し、それらの観点から楽曲を分析することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 小テスト等
		思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> 音楽を形づくる要素を理解し、それらの観点から楽曲を分析・鑑賞し、自身の考えを述べることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート等
		主体的学習	<ul style="list-style-type: none"> ルネサンス～バロック期の音楽に興味をもち、主体的に授業に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価 授業態度等

短期シラバス（第2回考査分）

教科・科目名	芸術・美術Ⅰ	学年・コース	第1学年（選択）	予定時数	14時間
--------	--------	--------	----------	------	------

単元・題材	単元の目標	評価観点	評価規準	評価方法
・鉛筆による静物デッサン （継続）	<ul style="list-style-type: none"> 対象を見つめ感じ取ったことや考えたこと、夢や想像などから主題を生成する。 表現形式の特性を生かし、形体や色彩、構成などについて考え、創造的な表現の構想を練る。 表現方法を創意工夫し、主題を追求して創造的に表す。 	知・技	・表現方法を創意工夫し、主題を追求して創造的に表している。	<ul style="list-style-type: none"> 授業作品 制作レポート
		思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> 対象を見つめ感じ取ったことや考えたこと、夢や想像などから主題を生成している。 表現形式の特性を生かし、形体や色彩、構成などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業作品 制作レポート
		主体的学習	・主体的に鉛筆による表現の創造活動に取り組もうとしている。	・授業態度
・切り絵による表現 五島の魅力を表現する	<ul style="list-style-type: none"> 自然や文化、生活などを見つめ感じ取ったことや考えたこと、夢や想像などから主題を生成する。 表現形式の特性を生かし、形体や色彩、構成などについて考え、創造的な表現の構想を練る。 意図に応じて材料や用具の特性を生かし、主題を追求して創造的に表す。 	知・技	・意図に応じて材料や用具の特性を生かし、主題を追求して創造的に表している。	<ul style="list-style-type: none"> 授業作品 制作レポート
		思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> 自然や文化、生活などを見つめ感じ取ったことや考えたこと、夢や想像などから主題を生成している。 表現形式の特性を生かし、形体や色彩、構成などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業作品 制作レポート
		主体的学習	・主体的に切り絵による表現の創造活動に取り組もうとしている。	・授業態度
・鑑賞 （石田徹也の作品）	<ul style="list-style-type: none"> 造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解する。 造形的なよさや美しさを感じ取り、作 	知・技	・造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。	・鑑賞レポート
		思・判・表	・造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。	・鑑賞レポート

	者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深める。	主体的学習	・主体的に作品や美術文化の鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。	・授業態度
--	---------------------------------------	-------	----------------------------------	-------

短期シラバス（第2回考査分）

教科・科目名	英語・英語コミュニケーションI	学年・コース	第1学年（普通・夢トライコース）	予定時数	20 時間
--------	-----------------	--------	------------------	------	-------

単元・題材	単元の目標	評価観点	評価規準	評価方法
Lesson 1	[題材内容] 世界の朝食を紹介するスピーチを通して、その特徴や相違を学習する。 [言語材料] 過去形 [言語活動] 好きな食べ物について、英語で述べるができる。	知・技	[知識] 動詞の過去形を用いた文の形・意味を理解している。 [技能] 動詞の過去形の理解をもとに、世界の朝食を紹介するスピーチや、昨夜何をしたかについての対話の内容を聞く技能、好きな食べ物について、自分の考えや好み、その理由などを書いたり、伝え合ったりする技能を身につけている。	・定期考査 ・プリント等 ・小テスト ・振り返りシート
		思・判・表	世界の朝食を紹介するスピーチや、好きな食べ物についての対話の概要を捉えている。 おたがいについてよりよく知るために、世界の朝食について学んだ事柄を用いて、好きな食べ物について自分の考えや好み、その理由などを伝え合っている。	・定期考査 ・振り返りシート ・観察
		主体的学習	世界の朝食について書かれた文章の概要を捉えようとしている。世界の朝食について学んだ事柄を用いて、好きな食べ物について自分の考えや好み、その理由などを整理して話そうとしている。	・定期考査 ・振り返りシート ・観察

Lesson 2	<p>[題材内容] オーストラリアの珍しい野生動物クオッカと観光のルールについて学習する。</p> <p>[言語材料] 進行形：〈be 動詞＋動詞の-ing 形〉</p> <p>[言語活動] 好きな動物について、英語で述べるができる。</p>	知・技	<p>[知識] 進行形〈be 動詞＋動詞の-ing 形〉を用いた文の形・意味・用法を理解している。また、オーストラリアに生息する珍しい野生動物について学んだ事柄や好きな動物について、自分の考えや好み、その理由などを整理・理解している。</p> <p>[技能] 進行形〈be 動詞＋動詞の-ing 形〉の理解をもとに、オーストラリアに生息する珍しい野生動物について学んだ事柄を用いて、好きな動物について、考えや好み、その理由などを話して伝え合う技能を身につけている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・プリント等 ・小テスト ・振り返りシート
		思・判・表	オーストラリアに生息する珍しい野生動物に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、好きな動物について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、考えや好み、その理由などを話したり書いたりして伝え合っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・振り返りシート ・観察
		主体的学習	オーストラリアに生息する珍しい野生動物に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、好きな動物について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、考えや好み、その理由などを話したり書いたりして伝え合おうとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・振り返りシート ・観察
文法のまとめ 1	<p>[言語材料] be 動詞と一般動詞／否定文と疑問文 / 過去形／進行形</p>	知・技	<p>[知識] 「be 動詞と一般動詞」「過去形」「進行形」を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>[技能] 「be 動詞と一般動詞」「過去形」「進行形」を用いて、相手とコミュニケーションできる技能を身につけている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・プリント等 ・小テスト ・振り返りシート
		思・判・表	「be 動詞と一般動詞」「過去形」「進行形」を用いて、相手とコミュニケーションができています。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・振り返りシート ・観察
		主体的学習	「be 動詞と一般動詞」「過去形」「進行形」を用いて、相手とコミュニケーションをしようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・振り返りシート ・観察

短期シラバス（第2回考査分）

教科・科目名	家庭・家庭基礎	学年・コース	第1学年（普通・夢トライコース）	予定時数	14 時間
--------	---------	--------	------------------	------	-------

単元・題材	単元の目標	評価観点	評価規準	評価方法
第9章 経済生活を営む 第10章 持続可能な生活を営む	<ul style="list-style-type: none"> 消費行動を通して、消費者としての生活を送るうえでの課題やルールについて学ぶ。 地球全体のさまざまな問題について考えるとともに、ひとり一人が持続的にできるエシカルな行動について学ぶ。 	知・技	<ul style="list-style-type: none"> 消費者の権利や義務を理解するとともに、自分の人生を見通して、消費の仕方を考えることができる。 社会制度としての家族や家族と法律との関わりについて理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業プリント 学習ノート 授業への参加態度 定期考査
		思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> 消費者市民として、地球環境や社会全体に及ぼす影響や何をどう消費していくのか考え、まとめることができる。 消費トラブルや契約について学んだことを、自分の生活に置き換えて考え、まとめることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業プリント 学習ノート 実習への参加態度 定期考査
		主体的学習	<ul style="list-style-type: none"> グループの人と協力し、話し合いや活動に積極的に参加しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業、実習への参加態度 課題の提出
≪実習≫ <ul style="list-style-type: none"> ホームプロジェクト実践 ライフプラン シミュレーション 外部講師による 消費者教育 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者や子どもへ向けての布の小物作りをしながら、被服の技術を学ぶ。 ライフイベントにどれくらいの経費が必要か考える。 消費者としてお金と賢く付き合うために講話を聴き、消費活動の問題点や対策を知る。 	知・技	<ul style="list-style-type: none"> 小物作りを通して、手縫いやミシンの使い方を知り、被服の簡単な修理や制作ができる。 経済活動の中でお金との付き合い方を学び、生活の中で実践することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業プリント 学習ノート 授業への参加態度 定期考査
		思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> 自分の人生設計を考え学んだことを、実生活に置き換えて判断し、まとめることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業プリント 学習ノート 実習への参加態度 定期考査
		主体的学習	<ul style="list-style-type: none"> グループの人と協力し、話し合いや活動に積極的に参加しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業、実習への参加態度 課題の提出

短期シラバス（第2回考査分）

教科・科目名	情報・情報Ⅰ	学年・コース	第1学年（普通／夢トライ）	予定時数	13 時間
--------	--------	--------	---------------	------	-------

単元・題材	単元の目標	評価観点	評価規準	評価方法
第2章 情報デザイン	<p>メディアとコミュニケーション手段の発達について学習し、インターネット上のコミュニケーション手段とその特性を理解する。</p> <p>また、ソーシャルメディアの特徴と活用する際の注意点を知らず、情報をうまく伝えるための情報デザインの考え方を理解する。</p> <p>さらに、アナログとデジタルの特徴や2進法による表現と情報量の単位、文字・音・画像・動画のデジタル化のしくみについて理解する</p>	知・技	<ul style="list-style-type: none"> それぞれのメディアの特徴やメディアの進化について理解している。 ネットワーク上のコミュニケーションサービスの種類と特徴を理解している。 ソーシャルメディアの活用方法と注意点を理解している。 情報を伝えるときに大切なデザインの基本について理解している。 データを圧縮する方法と特徴を理解している。 	学習ノート ファイル 定期考査 授業態度
		思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> コミュニケーションにおいて気をつけるべき点について、具体的な例をあげて説明できる。 ソーシャルメディアの活用法について、発信者・受信者の双方の立場に立って考えている。 情報を伝える目的ごとに適した手段について考えている。 収集した情報を、伝える対象や効果的な方法を考え整理することができる。 目的に応じた適切な圧縮方法を考え、表現することができる。 	学習ノート ファイル 定期考査 授業態度
		主体的学習	<ul style="list-style-type: none"> ソーシャルメディアが社会に与える影響について調べ、考えを深めようとしている。 ユニバーサルデザインやユーザビリティに配慮してデザインの工夫を考えようとしている。 画像を別々のファイル形式で保存したときのファイルサイズを比較しようとしている。 	学習ノート ファイル 課題の提出状況 授業態度

短期シラバス（第2回考査分）

教科・科目名	理科・理数探究基礎	学年・コース	第1学年（普通コース）	予定時数	14 時間
--------	-----------	--------	-------------	------	-------

単元・題材	単元の目標	評価観点	評価規準	評価方法
第1編 探究の流れ 第4章 結果の分析 第5章 成果をまとめる 第6章 成果を発表する	<ul style="list-style-type: none"> 表やグラフの種類ごとの特徴を理解し、活用する。 統計的手法について、必要に応じて活用できるように理解する。 探究結果をレポートにまとめて、班ごとに発表し、相互評価する。 	知・技	<ul style="list-style-type: none"> データの種類と扱い方について理解している。 表やグラフの種類ごとの特徴を理解している。 実験結果を適切にレポートにまとめる、発表するための技能が身についている。 	授業への取り組み プリント
		思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> 表やグラフの種類ごとの特徴を踏まえ、適切に判断し、表現することができる。 探究の過程を整理し、適切に表現することができる。 説得力のある発表となるよう、話し方や話の流れを工夫することができる。 自身や他者の発表をもとに、探究を評価することができる。 	
		主体的学習	<ul style="list-style-type: none"> データごとに相応しい表やグラフの種類を選択し、表やグラフに表そうとする。 自らの言葉でレポートを作成しようとする。 発表、相互評価を受けて探究の過程をふり返って評価・改善しようとしている。 	